



YMIWORLD

強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う

ワイズメンズクラブ国際協会

2026年8月



ワイズメンズクラブ国際協会は、トロントで開催された第21回世界YMCA同盟評議会において、YMCAとの100年にわたるパートナーシップを祝いました。

目次

ページ

国際会長メッセージ	3
ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク 国際会長	
国際本部ニュース	4
ジョース・ヴァルギース 国際書記長	
世界YMCA同盟評議会 2026	5
戦略2032	6
ハンク・ウォルター 戦略2032チーム 委員長	
ブルーミュージック・キャンプファイヤー・ストーリー	7
チェンマイ・ワイズメンズクラブ	
ECOSOCパートナーシップフォーラム2026および国連デー	8
トーマス(シビ) デビッド YMI 国連代表 2025/26	
クラブ会長マニュアル	9
マニュアル改訂委員会	
アフリカ地域ニュース	10
ジョウン・マティ アフリカ地域ニュース編集者	
アジア太平洋地域ニュース	12
利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者	
ヨーロッパ地域ニュース	14
ビルジット・ジェイコブセン ヨーロッパ地域ニュース編集者	
インド地域ニュース	15
ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者	
韓国地域ニュース	18
キム・ジンク 韓国地域ニュース編集者	
IYC 2026登録	20
ラテンアメリカ地域ニュース	21
エディリオン・ローラ・ゴンサルベス ラテンアメリカ地域元地域会長	
米国地域ニュース	22
メラニー・カルフエ・ヨシダ 米国地域ニュース編集者	
酒の神ディオニソスおよびカナでの婚礼！	23
ヴィリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任	

編集長から

YMI ワールドに関するご意見やアイデアを共有するには、編集長までご連絡ください。

9月は

EMCおよび100日間会員増強キャンペーン
の強調月間です。

インパクトのあるストーリーを送信するには、以下をクリックしてください。

締め切り：2026年8月15日。

[編集長へ](#)



ブルーミュージック

国際会長

ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク



なぜ戦略はこんなにも退屈なのか？

家を建てたり道路を建設したりするには、しっかりとした作業計画、つまり資金、寸法、材料、あらゆる種類の資源を詳細に記した設計図が必要であることは十分に理解しています。これは必要不可欠ですが、エンジニアや経済学者以外の人にとっては退屈な作業です。

一方で、エンジニアや経済学者は、組織や人間関係についてほとんど知識がない場合が多いです。

組織を構築するということは、人間関係、感情、価値観、そして笑顔に満ちた、生き生きとした家を築くことなのです。

チェンマイに住む親友のラチャン・マニーカーンから、今夏最初のクラブミーティングの報告が今日届きました。ブルーミュージックのキャンプファイヤーを囲んで、新たな気持ちで再出発を図るという趣向のミーティングでした。形式ばった話ではなく、人間関係を大切に、長々としたスピーチではなく、心温まる会話を交わし、統計や報告書ではなく、感動的な物語を語り合ったそうです。

まさにそれが私の言いたいことです。これは、もはや退屈ではありません。刺激的で、魅力的です。なぜなら、創造性とポジティブな感情に満ちたこのような環境においてこそ、変化と再生が起り得るからです。

そして、それこそが私たちが2032年を見据えて目指すものです。会員数、クラブ数、加盟国数を増やし、グローバルプログラムへの支援を拡大するという目標を達成するためには、人間の生活のあらゆる側面を活性化させる必要があるのです。

これがブルーミュージックです。それは、私たちの価値観、人間関係、思いやり、共感を表しています。それは、行動で示される善意です。

組織を構築する際、成長と発展のためには、これらのツールが不可欠です。7ページに掲載されているチェンマイで開催された「変革のためのブルーミュージックキャンプファイヤー」のレポートをお読みいただき、ぜひご自身の地域のクラブを同じように刷新し、強化するためのインスピレーションを得てください。

ブルーミュージックの戦略的なツールを活用することで、目標とする数字も達成できるでしょう。ワイズメンズクラブ国際協会を通して、輝く素晴らしさを人々が感じ取ることで、クラブの数も会員数も増えるはずです！



国際本部ニュース

国際書記長

ジョース・ヴァルギース

今月は、ワイズメンズクラブ国際協会（YMI）の持続可能な成長、より大きな影響力、そして組織の刷新を導く長期ロードマップである「戦略2032」に注目します。献身的なタスクフォースが、2022年の戦略策定以来の進捗状況を検証し、今後5年間の優先事項を特定しています。

この見直しは、私たちのプログラム、組織、リソースが、会員、地域社会、YMCAパートナーの変化するニーズに引き続き対応できるようにするのに役立ちます。YMIは、先日トロントで開催された第21回世界YMCA同盟評議会に、国際会長ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク、国際書記長の私、YMCA担当YMIリエゾン（YL）のフィリップス・K・チェリアンを含む代表団が参加しました。

私たちの活動内容は、開会式における国際会長の挨拶、ソリューションスタジオ「YMI：友情、リーダーシップ、奉仕を通して人生を豊かにする」の運営、そして執行委員会および評議会全体におけるYLの積極的な参加など多岐に渡りました。また、YMIは、イベント期間中、プロモーションブースを設置し、世界各国のYMCAリーダーや代表者との有意義な交流を実現しました。

閉会式では、YMIが世界YMCAの特別賞を受賞し、100年以上にわたるパートナーシップと奉仕活動が称えられ、誇り高い節目を迎えたことを祝われました。

7月中、国際本部は、年次監査を無事完了し、良好な結果を得ました。また、7月31日には、緊急の組織的問題に対処するため、代表者立法協議会の特別オンライン会議が開催されました。

2026年国際大会の参加登録は締め切りしました。世界各国から520名以上の参加者が、国際大会または国際ユースコンボケーションのためにペナンに集結します。IC 26企画委員会の最終会議は、8月中旬にペナンで開催され、これらの待望の国際イベントに向けた準備が万全に整うよう最終調整が行われます。

また、200名を超えるリーダーがブルーミュージック・アンバサダープログラムに参加していることは、大変喜ばしいことです。今月から地域レベルの研修とオリエンテーションが開始され、アンバサダーたちは、ブルーミュージックのビジョンを共有し、親睦、リーダーシップ、奉仕を通して変革を促すための準備を整えます。

私たちは、これらの革新的な取り組みに大きな期待を寄せており、共に前進し、眠れる巨人を呼び覚まし、人々の生活を豊かにし、未来に向けてより強固なYMIを築き上げていくことを楽しみにしています。

世界YMCA同盟評議会2026： パートナーシップを通じて変革を起こす

第21回世界YMCA同盟評議会は、2026年7月19日から25日にかけて、カナダのトロントで100カ国以上から1,300人を超える代表者とゲストが一堂に会して開催されました。カナダYMCA同盟がグレーター・トロントYMCAと提携して主催したこの評議会は、「変革」をテーマに開催されました。世界YMCA同盟会長のソヘイラ・ハエックと総主事のカルロス・サンビーが、この重要な国際会議を主導しました。評議会は、YMCAビジョン2030の達成に向けたガバナンス、対話、学習、親睦、共同行動の機会を提供しました。オーストラリアのクリストファー・ルイスが2026年から2030年の世界YMCA同盟会長に選出されました。イングランドおよびウェールズのエマ・オスムンセン・ホワイトが副会長に、カナダのローリー・リン・スキナーが会計に選出されました。

もう一つの重要な出来事は、YMCAチェンジエージェント第6期生の卒業式でした。44カ国から79名の若いリーダーがプログラムを修了し、YMCAの若者のエンパワーメントとリーダーシップ育成への強い取り組みを示しました。YMIは、評議会全体を通して活発かつ目に見える形で存在感を示しました。YMI代表団は、国際会長のヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク、国際書記長のジョース・ヴァルギース、YMCA担当YMIリエゾンのフィリップス・K・チェリアンが率いました。

開会式で、国際会長のヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィクは、現代におけるYMIの役割と、ブルーミュージックのビジョンを通じた刷新計画について語りました。彼は、青少年育成における世界YMCAのリーダーシップを称賛し、特にチェンジエージェント・プログラムを高く評価しました。また、YMIが世界的なYMCA運動を引き続き支援していくことを改めて表明し、地域および各国のYMCAに対し、新たなYサービスクラブの設立と新規会員の獲得を支援するよう促しました。

YMIはまた、「親睦、リーダーシップ、奉仕を通して人生を豊かにする」と題したソリューションスタジオを開催しました。このセッションでは、親睦がどのように孤独感を解消できるか、リーダーシップがどのように行動を促すことができるか、そして奉仕がどのように地域社会を変革できるかを探りました。参加者には、YMヒストリアンのデビー・レッドモンド、地域会長のジャレッド・ムシマ、総主事のドリーナ・ルカ、フレデリクトンYMCA会長兼CEOのダーシー・デラニー、YMCAアーカイブ担当のライアン・ビーン、元国際ユース代表のドワイト・トムリンソン、そしてロナルド・ヤムが含まれていました。

会議期間中、会場内には展示ブースが設置され、YMI、そのサービスクラブ、そしてグローバルプログラムに関する情報が参加者に提供されました。また、YMIは、YMCAの長年のパートナーおよびスポンサーとしての役割を称えられ、会場全体にYMIのブランドが大きく表示されました。

閉会式は、YMIにとって真に歴史的な瞬間となりました。世界YMCA同盟は、YMIが100年以上にわたり、世界的なYMCA運動と協力し、奉仕し、揺るぎない支援を続けてきたこと、そして世界中のコミュニティに与えてきた影響を称え、特別賞を授与しました。カルロス・サンビー総主事が、YMIの国際書記長のジョース・ヴァルギースに賞を授与しました。この表彰は、ワイズメン、ワイズウイメン、ワイズユース、ワイズメネットの各世代、そして1世紀以上にわたりYMCAとコミュニティを支援してきた世界中の奉仕クラブのネットワークを称えるものです。

トロントでの評議会は、YMCAとYMIの歴史的なパートナーシップを強化し、青少年育成、リーダーシップ開発、地域社会への貢献、会員数増加における新たな協力の機会を切り開きました。これは両運動にとって真に歴史的な節目となりました。

YMI戦略2032ニュース

ハンク・ウォルター

戦略2032チーム 委員長

サンタモニカAMクラブ（米国）

戦略2032チームは、8月の強調月間テーマとしてYMIワールド誌にこの記事を投稿できることを光栄に思います。YMIクラブ会員としての私たちの目標は、家族、会員数の増加、そして他に類を見ない影響力のあるプロジェクトの実施に重点を置き、YMI運動が今後100年間も意義を持ち続けるようにすることです。戦略2032の10年間の青写真では、健康、教育、環境を擁護する、地域に根ざした独自のブランドとしてYMIを構築し、グローバルミッションパートナーであるYMCAとのパートナーシップを強化する方法を概説しています。戦略2032は、文化、性別、世代間の多様性、宗教的価値観を包含するブランドを通じて、YMIが強力なアイデンティティを確立し、イエス・キリストの哲学と教えに根ざし続けることに焦点を当てています。

私たちのチームはZoomを使って四半期ごとに会議を行っています。2026/27年度には、クラブやYMIが様々なレベルで以下の5つの分野で目標を達成できるよう、具体的かつ測定可能な目標パラメータを設定したいと考えています。



今年最初の戦略2032チームミーティング

親睦

- クラブレベルで、家族、青少年、文化的な交流を強化するために、温かく支援的な環境を作り出す。
- クラブ間の交流会や国際兄弟クラブとの関係構築を促進し、有意義な親睦を深める。
- YMI内の国際／地域／区／部レベルのフェローシップに積極的に参加する。

リーダーシップ

- クラブ会員の個人的および職業的成長のための機会を拡大する。
- YMIの伝統、精神、使命に対する認識に基づいた研修機会を提供することで、次世代のリーダーを育成する。
- リーダーシップにおいては、情熱、誠実さ、そして積極性を重視すべきである。

コミュニティインパクト

- 健康、教育、環境の分野でプロジェクトを実施する。
- YMCAと協力的な関係を築き、ミッションパートナーとして活動する。
- 地域企業や資源を共有する他の組織との関係を構築し、影響力のある領域を拡大する。
- 成功した取り組みとその影響を共有し、発信する。

- 健康、教育、環境に関する問題について、啓発キャンペーンを実施する。
- YMIの中核となる国際プログラム、例えばASF、BF、EF、.RBM、TOFなどのための資金調達活動を行う。
- YMIの国際プロジェクトを支援し、参加する。

2022年、チームが結成され、YMIが創立100周年を迎えた当時を振り返ると、私たちの取り組みは、若い世代の優先事項を理解し、現代社会の現実を認識することに集中すると同時に、伝統的で長年にわたり貢献している会員の方々の情熱と献身を尊重し、大切にすることにも重点を置いていました。

2026/27年度における私たちの主要な課題は、戦略2032の世界的な実施状況に関する5年間の進捗報告書を作成することです。私たちは、リーダーたちが運動の目標達成に向けたロードマップを策定する上で役立つよう、チームの提言を共有していきます。このプロセスへの皆様のご参加は不可欠です。戦略2032に対する皆様の理解、活動内容、成果、そして今後の計画をぜひ私たちと共有してください。共に力を合わせ、より力強く、より影響力のある未来に向けて、YMI運動を活性化させていきましょう。

ブルーミュージック・キャンプファイヤー・ストーリー 変化はここから始まる

タイのチェンマイワイズメンズクラブは、2026年7月6日、国際会長ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィクの発案による意義深い「ブルーミュージック・キャンプファイヤー・フォー・チェンジ」で、新たなYMCA年度をスタートさせました。形式的な会合の代わりに、会員、配偶者、年配の友人、そして4人の若い入会希望者を含む20人が、手作りの料理を囲み、音楽を聴きながら、それぞれの物語を語り合いました。



ベテラン会員は、YMIでの歩み、YMCAでの思い出深い経験、奉仕活動、そして生涯にわたる友情について語りました。若い参加者は、夢や、意義のある活動に所属したいという願望を共有しました。クラブは、30年近くにわたる地域社会への奉仕活動、YMCAとの連携、国際的な交流、そしてリーダーシップ育成を振り返りました。その後、参加者はクラブの未来像を描き、「2028年の創立30周年までに、私たちはどのようなワイズメンズクラブになりたいのか？」と問いかけました。

形式よりも友情を。
発表よりも参加を。
統計よりも物語を。
交わりを通して変化する。

外では雨が降る中、象徴的な室内の焚き火が皆を一つに結びつけました。アコースティックギターの伴奏に合わせて、参加者たちは世代を超えた歌を歌いました。音楽は友情、帰属意識、そして孤独からの解放を象徴する言語となりました。

参加者一人ひとりが「今年は…します」という文章を完成させ、会員数の増加、メンター活動、YMCAへの支援、地域社会への貢献といった個人的な目標を掲げました。チェンマイは、人々が集まり、耳を傾け、分かち合い、共に夢を見ることで、意義ある変化が始まることを私たちに改めて教えてくれます。





ECOSOCパートナーシップフォーラム2026： 清潔な水と衛生のためのパートナーシップの加速

トーマス（シビ）・デイビッド YMI国連代表（2025/26年度）



YMIは、ニューヨークの国連本部で開催された2026年ECOSOCパートナーシップフォーラムに、YMIのニューヨーク在の国連代表であるトーマス（シビ）・デイビッドを派遣できたことを光栄に思います。2026年1月27日に開催されたこのフォーラムには、政府、国連機関、市民社会、学術界、青年団体、民間企業が集まり、2030アジェンダと持続可能な開発目標の推進に取り組みました。SDG 6アクションセグメントでは、2030年までにすべての人が安全な水と衛生設備を利用できるようにすることに焦点が当てられました。参加者は、水は健康、教育、食料安全保障、経済発展、ジェンダー平等、気候変動への耐性にとって不可欠であることを強調しました。

主な優先事項としては、手頃な価格の水道・衛生サービスの拡大、パートナーシップの強化、革新的な技術の促進、持続可能な資金調達の増加、干ばつ、洪水、水不足に対する回復力の向上、そして水ガバナンスにおける女性、若者、地域社会のエンパワーメントなどが挙げられます。



今回の会合では、SDG 6を単独で達成できる組織や政府は存在しないことが改めて確認されました。公平性、革新性、協力、そして迅速な行動が不可欠です。議論は、2026年のハイレベル政治フォーラムを含む今後の国連イニシアチブへの提言に貢献し、すべての人に清潔な水と衛生設備を確保するための、測定可能で人を中心とした解決策の必要性を改めて強調しました。

8月19日： 世界人道デー

思いやりと奉仕を通して行動を促す

8月19日は世界人道デーです。この日は、2003年にイラクのバグダッドにあるカナルホテルで発生した爆破事件で命を落とした人道支援従事者を追悼するために制定されました。この日は、危機に際して、率先して行動するすべての人道支援従事者を称え、他者に奉仕するために必要な勇気、思いやり、そして献身を私たちに改めて認識させてくれます。世界人道デーを記念することで、私たちは紛争、災害、そして苦難に見舞われた何百万人もの人々と連帯し、人間の尊厳を守り、人類のために尽力する人々を支援するという共通の責任を認識します。

紛争、気候変動、自然災害、社会的不平等などによって影響を受けるコミュニティが増え続ける中、世界が直面する人道上の課題は増大の一途をたどっています。国連は、人々の命を守り、尊厳を擁護し、世界的な連帯を強化する取り組みを支援することで、すべての人に#ActForHumanity（人道のために行動しよう）を呼びかけています。

この人道的な精神は、YMIのビジョンと、8月の活動の焦点である「戦略2032」の目標を強く反映しています。奉仕、親睦、そして地域社会への貢献に尽力する運動として、YMIは、会員が意義深い取り組みを通して地域社会のニーズに応え続けるよう促しており、現在は、健康、教育、環境のプロジェクトに重点を置いています。

8月は、将来を見据えた計画策定と「戦略2032」の目標達成に重点を置く時期ですが、YMI設立以来の基盤であり原動力となってきた人道支援活動の伝統も忘れてはなりません。YMIメンバーは、継続的な思いやり、協力、奉仕を通して、地域社会の変革に貢献することができます。あらゆる善意の行為が、より思いやりで満ちた、包容力のある世界の構築につながるのです。

このコーナーでは、YMIの価値観と使命に共鳴する国連記念日を紹介します。国連記念日の全リストと詳細については、国連の公式カレンダーをご覧ください。

YMIリソースのリマインダー 毎月の最新情報 マニュアル改訂委員会

マニュアル改訂委員会（MRC）は、YMIのマニュアルとポリシーが常に最新かつ実用的で、運動のニーズに合致していることを保証します。過去1年間で、11の文書が改訂されました。この継続的な取り組みの一環として、またヨハン国際会長のブルーミュージックチャレンジを支援するため、MRCは、YMIウェブサイトで公開されている最新の改訂の一部をご紹介しますことを嬉しく思います。

クラブ会長マニュアル - すべてのクラブリーダー必読

クラブはYMIの中核です。あらゆる奉仕活動、新規会員の獲得、YMCAとのあらゆる提携、そしてあらゆる親睦活動は、クラブレベルから始まります。私たちの運動の未来、そしてより良い世界を築く能力は、クラブの力とクラブ会長のリーダーシップに大きく左右されます。

クラブ会長マニュアルは、単なる事務的な手引き書ではありません。リーダーシップ、チームビルディング、会員育成、目標設定、予算編成、意思決定、後継者育成計画など、クラブを成功に導くための実践的なアドバイスを提供します。また、YMIの使命、組織構造、戦略2032（8月の重点項目）、国際プログラムの概要も掲載しており、クラブ会長が世界的な運動におけるクラブの役割をより深く理解できるよう支援します。さらに、職務記述書、模範的な会議議事、年間カレンダー、目標と予算のサンプル、すぐに活用できるプロジェクトアイデアなど、実用的なツールも含まれています。

クラブ会長は、就任前に必ずこのマニュアルを読み、年間を通して手元に置いておくべきです。クラブ役員や会員も、適切に運営されるクラブがどのようにYMIを強化し、地域社会やそれ以外の地域に永続的な影響を与えることができるかを理解することで、多くの恩恵を受けるでしょう。

YMIのウェブサイトアクセスして、最新のクラブ会長マニュアルをご覧ください。このマニュアルは皆さまの成功を支援するために用意されています。ぜひ最大限にご活用ください。

どうぞお楽しみください。来月の最新情報もお楽しみに。

YMI「ダウンロード」を詳しく見てみましょう。

YMIのウェブサイトには、豊富なリソースが用意されています。上部のメニューバーにある「ダウンロード」をクリックするだけで、マニュアル、ポリシー、パンフレット、プロモーション資料、テンプレートなど、さまざまな資料にアクセスできます。すべてカテゴリ別に整理されているので、必要なものをすばやく見つけることができます。

アフリカ地域ニュース

ジョウン・マティ アフリカ地域ニュース編集者

ケニア部

ケニア部新部長が就任

2026年7月4日、ナイロビYMCAに100名を超えるYMIおよびワイズユースメンバーが集まり、ジェニファー・キムリの2026/27年度ケニア部部長就任式が執り行われました。キツイYサービスクラブの創設メンバーであり、元クラブ会長でもあるジェニファーは、アフリカ地域会長のジャレッド・ムシマによって就任式が行われ、元部長のニコラス・ワンブアが補佐しました。式典にはタンザニアと英国からのゲストも出席しました。また、新メンバーの入会式や、モーリス・キムリのアフリカ南東区理事就任式など、リーダーシップの任命も行われました。



部は、退任するエスター・ムバアブ部長を称え、ジョウン・マティ元部長、エリシャ・オンゴヤ直前クラブ会長、ジュリエット・キモト元クラブ会長の卓越した貢献を称えました。基調講演は、広報専門家のエゼキエル・ムトゥア博士が行いました。

カンパライズメンズクラブ



カンパライズメンズクラブにおける新たなリーダーシップと成長

カンパライズメンズクラブは、2026年7月10日、カンパラのバックヤード・ビストロ・レストランで行われたリーダーシップ交代式典において、ネルソン・ムパギの後任としてソロモン・ムテサスラをクラブ会長に任命しました。この式典には、区および部のリーダーを含む40名以上の会員、ワイズユース、コメット、ゲストが集まりました。ムテサスラ会長は就任演説で、会員数の増加、若者のエンパワーメント、YMCAの取り組みへの支援、そして影響力のある地域社会への奉仕を主要な優先事項として強調しました。

新たに9名のメンバーが加わり、若いアンバサダーたちは、ウガンダ全土の学校や保健センターにまで広がっている、女子児童の衛生意識向上キャンペーンについて発表しました。

キツイYサービスクラブ

TOF新生児ユニットがキツイに希望をもたらす

キツイYサービスクラブのメンバーは、2026年7月10日、ムランゴAIC保健センターにあるTOF支援プロジェクト、ポール・W・アレキクサンダー新生児ユニットの建設現場で、親睦会とCP（コミュニティ・パートナー）就任式を開催しました。このプロジェクトは、地元住民に雇用機会を提供することで、既に地域社会に貢献しています。ある受益者は、プロジェクトに資材を供給することで得た収入が、子供たちの教育費に役立っていると語りました。新リーダーの就任式と研修は、部長のジェニファー・キムリによって執り行われました。



ナイロビメトロYサービスクラブ



ナイロビメトロに新たなリーダーシップが誕生

ナイロビメトロYサービスクラブは、2026年7月9日、ナイロビYMCAセントラルにて、新たなリーダーシップチームを迎えました。直前会長マーサ・ワングニユがキャロル・マギナ会長にリーダーシップを引き継ぎ、奉仕と親睦の新たな章が幕を開けました。式典では、ワイズユースクラブのリーダーシップの交代も行われ、ジョン・ムタナシャティがアロシ・ロナウドからクラブ会長の座を引き継ぎ、将来のリーダー育成に対するクラブの取り組みが示されました。



カカメガのワイズメンが思いやり、正義、奉仕型リーダーシップを推進

カカメガYサービスクラブは、尊厳、思いやり、そして地域社会の変革を促進する影響力のある取り組みを通して、奉仕の力を継続的に示しています。同クラブは、カカメガ中央刑務所に19万6,000ケニアシリング（1,519米ドル）相当のICT機器を寄贈し、オンライン裁判を通じて受刑者の司法へのアクセス向上を支援しました。さらに、2万200ケニアシリング（157米ドル）の寄付金は、女性刑務所施設で母親と暮らす子供たちを含む、社会的弱者である受刑者への支援に充てられました。

同クラブはまた、メンバーやYMIファミリー全体に支援を拡大し、ワイズマンのフェリックス・ムガリツィとその家族が悲しみに暮れる中、10万2,500ケニアシリング（795米ドル）を集めました。また、ワイズユースクラブのメンバーは、腎臓移植を待っている仲間のメンバー、トニー・ムガンビ・ムネネの医療費として3万3,000ケニアシリング（256米ドル）を寄付しました。



新たなリーダーシップの幕開けを祝し、クラブは2026年7月11日にリーダーシップ移行ディナーを開催し、モーリーン・オデックをクラブ会長に任命しました。このイベントは、カカメガワイズメンズクラブが奉仕型リーダーシップ、親睦、そして人類への意義ある奉仕に引き続き尽力していく姿勢を反映したものです。



ナイジェリア部

ナイジェリア部で新部長が就任

アルモソイエ・アデバヨは、2026年5月30日にラゴスのYMCAロムニーホールで開催された盛大な就任式において、ナイジェリア部の地部長に正式に就任しました。

このイベントには、YMI会員、YMCAリーダー、ゲスト、家族が集まり、リーダーシップ、人道支援活動、地域社会への貢献を称えました。式典では、人道支援賞の授与、部の取り組みのための募金活動、そして30名の新会員の入会式が行われ、部の成長と奉仕への取り組みがさらに強化されました。



アジア太平洋地域ニュース

利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者

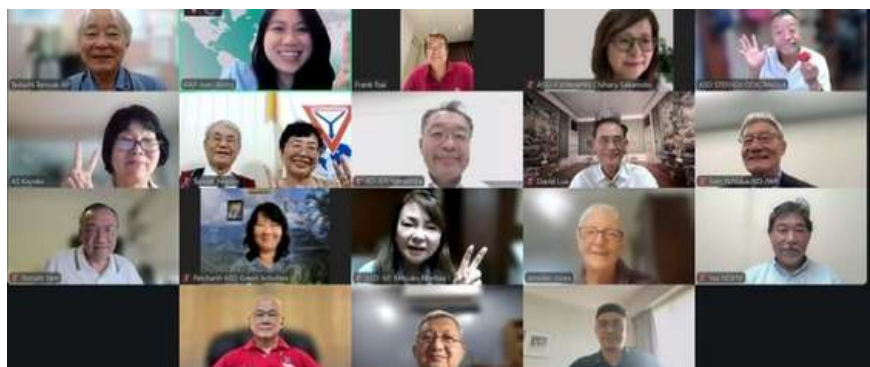
新たなIBC締結



韓国のインチョン・ナンドンワイズメンアンドウィメンズクラブと、西日本区の京都ウィングワイズメンズクラブは、6月に韓国でIBC締結式を行いました。1987年8月に設立された京都ウィングクラブは、同区で最も活発なクラブの一つです。両クラブ間の有意義な交流と強固なパートナーシップの構築を期待しています。

最終地域議会

2026年6月20日、アジア太平洋地域は、最終地域議会において、2025/26年度の成果を振り返り、祝賀しました。また、同会議では、2026/27年度の展望と優先事項についても議論されました。



東日本区

東京町田コスモスワイズメンズクラブは、創立30周年を迎えました。同クラブは1996年5月20日に東京コスモスワイズメンズクラブとして設立されました。その後、設立母体である東京町田クラブと合併した際に、現在の名称に変更されましたが、「町田」はそのまま残されています。



メンバーたちは、再出発にあたり、記念日を心に刻み、共に暮らす人々と共に祝福を生み出す喜びを大切に、ワイズメンズクラブの伝統を受け継いでいくことを決意しています。また、アジア太平洋地域や世界各地との繋がりを深め、人々の生活に貢献し、自然環境を守ることの喜びを再発見したいと考えています。

西日本区



六甲部の評議会が開催され、参加者は、次年度についての活発な議論を行いました。

南東アジア区



香港部は2026年7月11日に合同就任式を開催し、280名を超える会員および来賓が出席しました。

スリランカ区



スリランカ区のマハヌワラワイズメンズクラブとライオンズクラブ国際協会のペンギン・エクセレンス・クラブは共同で、「蚊によるデング熱感染の予防方法と、環境を清潔に保つことの重要性について一般市民への啓発活動」という時宜を得たプロジェクトを実施しました。



シンガポールアルファチャプタークラブ

おめでとうございます！ダニエル・ン・クラブ会長がウェイン・スー部長の司式によって就任しました。国際会長のエドワード・オンがその瞬間に立ち会いました。

台湾区



50周年記念式典 この区は、2026年6月8日に50周年を祝い、国際会長のエドワード・オンが主賓として招かれました。

社会的弱者のための住宅保護プロジェクト

宜蘭ワイズメンズクラブは、宜蘭慈善福祉協会および寿山ボランティアグループと協力し、築100年の平屋建て住宅の改修に無償で多大な支援を提供しました。改修対象となったのは、車椅子生活を送る70代の障がいのある兄と、知的障がいがあり日常生活を一人で送ることができない妹の家です。

兄弟姉妹は、この家での生活に苦労しており、毎日激しい屋根の雨漏りと闘い、建物を深刻に損傷させた深刻なシロアリ被害に直面し、多くの急な階段を上り下りするなど、大きな困難に直面しています。

改修工事は、わずか72時間で完了しました。これは単に家を改修するだけでなく、家族の生きる希望を取り戻すことなのです。これで、兄弟姉妹は安全で尊厳のある、温かい家で暮らすことができます。



台湾大真蹟 三善團扶助弱勢 修繕漏水房屋好安居
宜蘭新聞



アルメニアYサービスクラブが将来のプロジェクトとリーダーシップを強化

アルメニアYサービスクラブは、2026年6月28日にゾラビュル村のカタロワイナリーでクラブミーティングを開催し、会員が集まって進行中の取り組み、今後の機会、クラブの発展計画について検討しました。ミーティングでは、シュザンナ・ガルスティアンが新会員として迎えられました。クラブ会員は、今後6か月間で5,000ユーロの予算で支援される次世代コミュニティ開発事業の次の段階について話し合いました。これらのプロジェクトは、YMCA奨学生がYサービスクラブ同窓会ネットワークの支援を受けて実施します。クラブはまた、BftW Connect運営委員会とYMIアレクサンダーサポート基金を通じて、青少年向けプログラムをさらに強化できる機会についても検討しました。

今後の展望として、クラブはRoots for PeaceやGeneration NextといったYMCAのより大規模な取り組みを支援する機会を特定するとともに、Rootsmadeなどのプラットフォームを通じて収入創出活動を模索します。また、クラブメンバーは、持続可能なクラブ活動を展開するための第一歩として、戦争の影響を受けた職人による手作りの製品を集めたチャリティーオークションを開催することに合意しました。

会議では重要なリーダーシップの最新情報が発表され、ヴァルダン・ハンバルズミャンがクラブ会長に就任することが決定しました。ハイクヒ・カラペティアンが副会長に選出され、アルメニアにおけるワイズ運動の拡大を担当することになりました。また、マリーナ・ババヤンとレジーナ・グリゴリャンはそれぞれクラブの書記と会計に就任しました。

クラブはまた、定期的な会合のスケジュールに合意し、会員に対し今後のYMIの国際活動への参加を促すとともに、若い会員や将来のリーダーとの連携を強化し続けることを決定しました。



デンマーク区大会における、より環境に優しい未来への小さな一歩



環境に配慮した取り組みは、必ずしも多額の投資や複雑な解決策を必要とするわけではありません。700人が参加する区大会において、使い捨て食器や不必要な購入を避けるため、ボランティアチームは、地元のリサイクルショップから皿、カップ、カトラリーを調達しました。本来なら使われずに廃棄されるはずだった、バラバラの食器類が、組織最大規模のイベントの一つで新たな役割を与えられたのです。

サステナビリティへのメッセージは、夕食の席にとどまりませんでした。参加者一人ひとりの椅子にはトートバッグが置かれており、最初は会議資料を入れるものだと思われていました。しかし、夕食後、参加者は自分の皿、カップ、カトラリーを個人的な記念品として持ち帰るよう勧められました。これは、日々の小さな選択が変化をもたらすことを思い出すためのものでした。この取り組みは好評を博し、廃棄物を削減すると同時に、中古品に新たな命を吹き込むことに成功しました。すべての食器は、廃棄されることなく、今後も各家庭で使われ続けることになります。

インド地域ニュース

ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者

中央トラヴァンコール区 (CTR)

区理事、部長の就任式

中央トラヴァンコール区は、2026年7月5日、コッタヤムのCMSカレッジの歴史的な大ホールで、リーラ・ゴピークリシュナを区理事に任命しました。式典は、ケーララ州議会議員のシュリ・ティルヴァンチョール・ラダクリシュナンによって開始され、次期国際会長のV・S・ラダクリシュナンによって執り行われました。CTRハンドブックと会員名簿が発行され、区プロジェクトが開始され、約450名の会員が出席しました。また、同区では、サノジ・ヴァルゲーゼ (第2部)、ラフル・S・クマール (第3部)、G・タンカチェン (第4部) の3名を部長に任命し、新たなリーダーシップと奉仕の年が始まりました。



中央インド区 (CIR)



講演者交流会と地域奉仕活動

ヴィザグ・ジャズ、ヴィザグ・スチール、ニルマル・フルダイのワイズメンズクラブが共同で開催した講演会には、約60名のメンバーが集まり、刺激的な交流と学びの夕べを過ごしました。スヤシュ・チャバンによる基調講演は、魅力的で示唆に富む内容で、ベッツィ・ウィリアムズが温かく参加者を出迎えました。ワイズメンのシニアリーダーたちからの激励メッセージもプログラムを充実させ、参加者全員にとって忘れられない有意義な体験となりました。

中東区 (MER)

区大会および2026/27就任式

第5回MER区大会および第6回年次就任式が、2026年7月12日にドバイのセブンシーズホテルで開催されました。次期国際会長のV・S・ラダクリシュナンが主賓として出席し、インド地域書記のジョセフ・ヴァルゲーゼとブリテン編集者のジョビ・ジョウシャが名誉ゲストとして出席しました。このイベントでは、区大会、表彰式、区理事のマノジ・P・ネア率いる2026/27年度チームの就任式、そしてソニー・エイブラハムが編集した年次ブリテンが発行されました。



ゾーン1の設置

MER Zone-1の設立式典およびゾーン会議が、2026年6月20日にアラブ首長国連邦アル・クサイスのDhe Swagathで開催されました。レニ・アブラハムがマノジ・P・ネア区理事の司式によって区副理事に就任しました。このイベントは、「共に成長し、共に分かち合う」をテーマに、リーダーシップ、親睦、そして献身を称えるものでした。



中西インド区 (MWIR)

クラブの成長とリーダーシップ育成

フォート・コチワイズメンズクラブは、2026年7月15日に設立記念式典を開催し、15名の新会員を迎え入れ、リーダーシップチームを発足させました。また、同区では、サントシュ・トーマス・カナダン（第1ゾーン）とテリー・トーマス（第4ゾーン）が区副理事に就任しました。第1ゾーンの式典では、地域の奉仕活動の一環として、ルルド病院に透析装置が寄贈されました。



アディマリー・ワイズリングクラブは、トーナメント参加のためにユニフォームをスポンサーすることで、アディマリー政府高校フットボールチームを支援しました。

南中央インド区 (SCIR)



眼科医療サービスプロジェクト

ヴィルドゥナガルワイズメンズクラブは、第75回無料眼科検診キャンプを成功裏に実施し、138名の患者を検診、60件の白内障手術を支援し、57個の眼鏡を無料で提供しました。同クラブはこれまでに75回以上のキャンプを開催し、7,179名を検診、2,714件の白内障手術を支援し、1,924個の眼鏡を配布してきました。

ホスールワイズメンズクラブは、アイ・ファンデーションおよびクリスタル・エンジニアリング・システムズ社と共同で、従業員向け眼科検診キャンプを実施し、214名の従業員に無料の眼科検診を提供しました。

南インド区 (SIR)



地域社会への貢献と成長促進策

コバイ・グリーンシティワイズメンズクラブは、マシナクディの部族の学校に通う子供たちへのスポーツユニフォームの提供、アナカッティの部族の高齢者への栄養価の高い食事の毎日の提供、身体に障がいのある母親への医療支援など、いくつかの奉仕活動プロジェクトを開始しました。

書籍寄贈

サティヤマンガラム・ワイズウイメンズクラブは、ブドゥッカドゥ村の村立図書館に50冊の本を寄贈し、識字率向上と地域開発を支援しました。カライクディワイズメンズクラブは、新たに30名の会員を迎え入れ、教育、公共サービスへの貢献、地域福祉を支援する総額25万ルピー相当の奉仕活動プロジェクトを開始しました。



南西インド区 (SWIR)

リーダーシップ、トレーニング、サービス

2026/27年度の第1回区評議会が、2026年7月11日にカルティカ・レジデンス・ホテルで開催されました。地域広報誌「ゴールデン・スパーク」が発行され、区事業主任向けの研修が実施されました。



トゥーフアン・ウォリアーズ・キャンペーン

ケララ州警察麻薬取締班と共同で組織された「トゥーフアン・ウォリアーズ・キャンペーン」は、薬物乱用に対する意識向上を目的として2026年7月12日に開始されました。このキャンペーンには、ロバート・ジョニー警視補が主導する薬物撲滅の誓約も含まれていました。

高齢者介護

第9地区は、地区ガバナーP・K・ヴァルゲーゼの就任式において、高齢者に寝具などの必需品を提供することで、地域プロジェクト「高齢者ケア」を実施した。



西インド区 (WIR)



地域リーダーシップとトレーニング

マシュー・ヴァットスが西インド区理事に就任しました。就任式は、ケララ州政府のサニー・ジョセフ電力大臣によって執り行われた。

PSTトレーニング

また、同区では、地域LTOD事業主任のフランシス・P・Sの指導の下、カンヌールでPST研修を実施し、会長、書記、会計に、YMIの年間活動を効果的に行うための重要なリーダーシップと管理能力を身につけさせました。



韓国地域ニュース

キム・ジンク 韓国地域ニュース編集者

韓国地域が2026/27年度を開始



7月11日、韓国地域（チ・ソンウン会長）は、韓国・ジョンジュ市で初の執行委員会会議と第16回総会を開催し、2026/27年度を正式に開始しました。地域リーダーは前年度の成果を振り返り、改訂予算を承認し、新年度に向けた戦略的優先事項を発表しました。区理事および地域事業主任は、会員数の増加、リーダーシップ育成、地域社会への貢献への取り組みを再確認し、それぞれの行動計画を発表しました。また、韓国地域は、YMI国際医療サービスチームが8月14日から17日までカンボジアで医療ミッションを実施することも発表しました。

韓国テグ・ギョンブク区



5月16日、韓国テグ・ギョンブク区は、テグのグランドホテルで第67回区大会および指導者就任式を開催しました。地域指導者、歴代地域会長、海外からのゲストが会員とともに新任期を祝いました。優れた奉仕と長年の会員活動を称える賞が授与され、特別な指導者講演では、会員の継続的な成長を促しました。

次期区理事のイ・ミョンギルは、地域全体で尊敬、励まし、奉仕の文化を育むことで、親睦を深め、「より良い世界を築く」ことを誓いました。

韓国南区

韓国南区（パク・ジョンホン理事）は、7月2日にクァンジュYMCAとの政策会議を開催し、両組織が青少年育成、環境保護、地域奉仕、リーダーシップ育成における協力を拡大することで合意し、パートナーシップを強化しました。



7月15日、当区は、クァンジュ環境公社と協力協定を締結し、環境キャンペーンや市民参加を通じてクァンジュ溪流の生態系回復を推進することとしました。これらの取り組みは、持続可能な地域社会との連携に対する当区の強い意志を示すものです。

韓国西区



7月17日、韓国西区（チョン・ムンジャ理事）は、チャンナム南部と北西部のメンバーとバクソク文化大学の教授・学生が協力し、韓国ゴングジュ市で地域奉仕活動を実施しました。この活動は、大学と地域社会の連携による地域開発を促進する政府主導の取り組みである、バクソク文化大学のRISE（地域イノベーションシステム・教育）プログラムとの連携のもとで行われました。ボランティアたちは、LED照明の交換や生活必需品の整理などを行い、一人暮らしの高齢者の生活環境改善に貢献しました。この活動は、ワイズメンズクラブ、大学、地域社会の連携がいかに有意義で持続可能な地域奉仕活動を生み出すことができるかを示す好例となりました。

ジョンナム区

7月4日、ヨス部（キム・ミンソン部長）、ジョンナム区（キム・ジャジュン理事）の会員は、フィリピンのマニラに向けて救援物資を積んだ40フィートコンテナ2個を準備し、同区最大規模の国際奉仕プロジェクトを開始しました。輸送物資には、学校用机、教育機器、医薬品、衣類、その他恵まれない地域社会に必要な物資が含まれています。8月下旬には、ボランティアチームがマニラに渡航し、現地のパートナーと協力して教育支援、医療サービス、食事の配布、子供向け文化プログラムなどを実施する予定です。



韓国チョンブク区



7月8日、韓国チョンブク区（キム・ギョンモ理事）のチョウンブクラブのメンバーは、チョウンブ市で火災により家を失った家族を支援するため、直ちに現場に駆けつけました。ボランティアたちは損壊した家財道具や瓦礫を撤去し、メンバーは重機や廃棄物コンテナを提供して復旧作業を迅速に進めました。この活動は、被災した家族が生活再建を始める手助けをすることで、ワイズメンの思いやりに満ちた奉仕の精神を示すものでした。

韓国ジェジュ区

韓国ジェジュ区（ジュン・ジンホ理事）は、2026/27年度の活動開始にあたり、全クラブ参加のもと、クラブ会長就任式を行い、力強く活気に満ちた新年の幕開けとなりました。新会長が就任するにあたり、区は、会員数の増加と地域社会への貢献への取り組みを改めて表明しました。各クラブは既に、環境清掃活動や地域福祉施設での奉仕活動など、幅広いボランティア活動を再開しており、地域が親睦と地域社会への貢献の両方を強化していく決意を示しています。



韓国キョンギ区



韓国キョンギ区（チュ・イホ理事）は、「親睦を深め、奉仕を拡大する」をスローガンに、長年にわたり続けてきた地域奉仕活動をさらに拡大しています。メンバーは、スウォン駅でホームレスの人々に毎月食事を提供するほか、低所得世帯への練炭や生活必需品の寄付、リサイクルや環境意識向上を目的とした地域フリーマーケットの開催などを行っています。フリーマーケットの収益は困窮者支援のために寄付され、持続可能な奉仕と社会的責任に対する区の取り組みを反映しています。

韓国ソウル区

6月13日、韓国ソウル区は、「ワイズメン、共に」をテーマに、ソウルYMCAにて第67回区大会を開催しました。大会のハイライトは、戦略2032平和プロジェクトの一環として開催されたウクライナ平和コンサート2でした。ボランティアの音楽家と平和合唱団がウクライナの平和を支援する演奏を行い、コンサートで集められた資金は、新たに設立されたウクライナYサービスクラブに寄付され、音楽を通して国際的な友好と連帯が示されました。



IYC 26

マレーシア、ペナン
2026年9月7日～13日

登録料補助制度があります！2026年8月7日の申込締め切り前に、お早めにお申し込みください。

今すぐ応募しよう！



第20回国際ユースコンボケーション

ラテンアメリカ地域ニュース

エディリン・ローラ・ゴンサルベス 元地域会長



第35回部大会と 第35回区大会 の概要- ブラジル区

ブラジル区では、第35回区大会と第35回部大会が成功裏に開催され、指導者、クラブ会員、ゲストが一堂に会し、親睦を深め、責任感を共有し、YMIの使命への新たな決意を固める一日となりました。

部大会では、部長が2025/26年度の主な活動と成果をまとめた報告書を発表しました。また、新任の部長、クラブ会長、新会員の就任式、入会式が行われたほか、退任するリーダーたちの献身的な奉仕と卓越した貢献を称える特別表彰も行われました。



区大会では、ブラジル区の年次報告書および財務報告書が発表・承認され、透明性、優れたガバナンス、責任あるリーダーシップに対する区の取り組みが改めて確認されました。区および地域のリーダーたちである、次期区理事、ユース代表、地域会長から、奉仕、リーダーシップ、親睦、国際協力の重要性を強調する感動的なメッセージが発信されました。

イベントは、感謝、友情、そして祝賀の雰囲気の中で幕を閉じ、参加者たちはブラジル区のモットーである「必要に迫られてではなく、自らの意思でワイズメンとなろう」への決意を新たにしました。

プログラムは、親睦昼食会で締めくくられ、参加者たちは大会の成功を祝うとともに、YMIの特徴である友情と団結の絆をさらに強固なものにしました。

米国地域ニュース

メラニー・カルフエ・ヨシダ 米国地域ニュース編集者

米国フロリダ州南部で初のワイズメンズクラブが設立される



フロリダ州南部初のワイズメンズクラブとなるサウスフロリダワイズメンズクラブの設立式が、6月27日、米国フロリダ州コーラルスプリングスで盛大に執り行われました。米国地域会長のジョセフ・カンジャマラが正式にクラブチャーター状を授与し、新しく選出された役員の就任宣誓を執り行いました。式典は、北大西洋区理事一のジョージ・K・ジョンが主宰しました。このクラブは、北大西洋区の主導の下、ニューヨーク・ウェストチェスターYサービスクラブの後援を受けて設立されました。

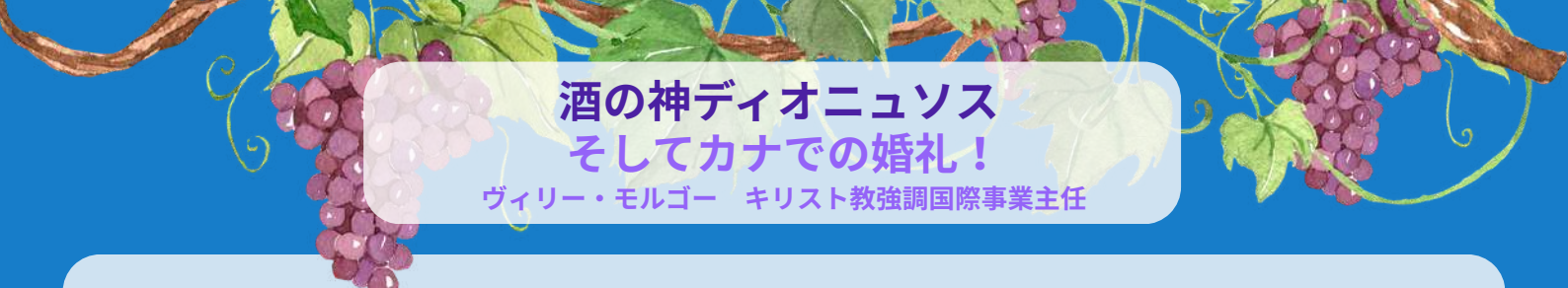
主賓のアイザック・アリッカパリル神父は、会員に挨拶し、奉仕と人道的価値観の重要性を強調しました。YMIのリーダー数名、社会文化分野の著名人、家族や友人も式典に出席しました。トーマス・ジョージが初代会長に就任しました。マシュー・ヴァロール・クリアンが副会長、アブラハム・カラティルが書記、ジョース・セバスチャンが会計、セバスチャン・ヴァヤリンカルが副書記、ベイビー・ジョージが副会計に就任しました。役員会メンバーも任命され、すべてのクラブ会員が正式に入会しました。役員らは、YMIの理想である友情、親睦、奉仕、リーダーシップ育成、社会的責任に導かれ、クラブは、慈善活動、教育支援プログラム、青少年育成活動、健康および地域奉仕プロジェクトを通じて南フロリダのコミュニティに奉仕することを目指していると述べました。役員一同は、来賓、YMIの指導者、スポンサークラブ、会員、家族、そしてクラブ設立のために祈り、励まし、支援をいただいたすべての方々に心からの感謝の意を表しました。

ワイズメンの「ブルー・ミュージック」がアイゼンハワー公園で始まる

ニューヨーク・ロングアイランドYサービスクラブは、ロングアイランドのアイゼンハワー公園で親睦ピクニックを開催し、「ブルーミュージック」への取り組みを開始しました。クラブ会員とその家族が集まり、手作りの朝食を準備・提供した後、バーベキューランチを楽しみました。一日を通して、会員たちはチームワーク、友情、笑い、そして親睦を深めるゲームやアクティビティを満喫しました。

このイベントは、国際会長ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィクが掲げる2026/27年度のテーマ「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」を体現するものでした。食事を共にし、親睦を深め、奉仕活動を行うことで、会員たちはこの取り組みの根底にある愛、思いやり、希望、自由、共感といった価値観を体現しました。この集まりは、YMIの新年度の幸先の良いスタートとなり、ささやかな親睦と奉仕活動がいかにクラブ活動を活性化させ、ブルーミュージックのテーマを生き生きと表現できるかを示しました。クラブは、この取り組みが地域および区の他のクラブにも刺激を与え、国際会長のスローガン「YMI - 人生を力づける」のもと、意義深い奉仕活動と永続的な友情を通してブルーミュージックの精神を広めることを期待しています。





酒の神ディオニュソス そしてカナでの婚礼！

ヴィリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任

(ヨハネによる福音書2章1～11節をお読みください)

ヨハネによる福音書は、特別な構造を持っています。まず、誰もがすぐに理解し、語り継ぐことができるシンプルな物語があります。そして次に、それをより深く研究する者にとっては、豊かな意味が込められています。

まず、表面的な話について少し説明しましょう。

それは村の結婚式で、イエスと彼の母マリアの両方が招待されました。マリアは非常に積極的な役割を果たし、彼女が実務的な準備に関わっていたことを示す多くの証拠があります。彼女は、ワインがなくなると心配し、召使たちにイエスの言うことを何でもするように命じるだけの権限を持っていました。ヨハネによる福音書によれば、イエスが最初の奇跡、すなわち水をワインに変えたのは、このカナでの婚礼の宴でのことだった。

イエスの他の奇跡は、困っている人々を助けるために行われたものだったため、これは奇妙な奇跡に思えるかもしれませんが、しかし、イスラエルでは、もてなしは神聖な義務であり、結婚式でワインがなくなるとは、花嫁、花婿、そしてその家族にとって大きな恥辱となるはずでした。ワインは、ユダヤ人の祝祭に欠かせないものでした。ラビたちが言ったように、「ワインがなければ喜びはない」。これは、恥ずべきこととされていた泥酔を奨励するものではなく、ワインが楽しい交わりの自然な一部であることを認めるものでした。イエスは、恥をかくことなく祝祭が続けられるように介入したのです。

ここで話を終えるとしても、イエスが普通の人々や人間の生活のあらゆる側面を気にかけていることを思い出させてくれる、素晴らしい福音の物語を聞いたことになります。しかし、ヨハネは、私たちにもっと多くのことを伝えようとしているのはほぼ間違いないでしょう。

私たちはこれまで、この文章が提起する多くの疑問を見過ごしてきました。

- イエスはまだ世間に知られていないのに、なぜイエスと弟子たちの両方が招待されたのでしょうか？
- マリアは、イエスが水をワインに変えることができること、そして実際にそうするだろうと、どうして知っていたのでしょうか？
- なぜ召使いたちは何が起こったかを知っているのに、宴会の主人は知らないのでしょうか？
- 弟子たちはどうやってそれを知ったのでしょうか？
- なぜ彼らは、キリスト教禁酒運動の多くの人々が憤慨したであろうほど、怒りを覚えなかったのでしょうか？
- なぜ異常に大きな浄化用の壺が強調されていたのでしょうか？
- なぜヨハネだけがこの驚くべき出来事を記録したのでしょうか？

これらの問いかけは、ヨハネが私たちに表面的なものだけでなく、その奥にあるものを見抜くよう促していることを示唆しています。彼は、福音書全体を通して象徴的な表現を用いています。それは、イエスがサマリアの女と交わした生ける水についての会話や、イエスが自らを世の光であると宣言する場面に見られます。カナでの奇跡は、単にイエスが奇跡を行う力を持っているということだけではなく、その奇跡が何を明らかにしているのかということなのです。

学者の中には、カナの婚礼は、ほぼ同時期に行われていたユダヤ人の清めの祭りと、ギリシャ神話の酒の神ディオニュソスを称える異邦人の祭りの両方を象徴的に置き換えるものだと示唆する者もいます。クリスマスが北ヨーロッパの冬至祭に取って代わったように、ヨハネは、イエスがこれら二つの古い宗教的伝統に取って代わる存在として描かれているのかもしれませんが。これがヨハネの意図であったかどうかはともかく、そのメッセージは明確です。イエスは、より偉大な何かをもたらします。豊富なワインと巨大な清めの壺は、それ自体を超えてキリストの比類なき栄光を指し示しています。ヨハネは読者に、イエスが神の子であることを認識してほしいと願っているのです。



6つの清めの石の壺もまた重要な意味を持ちます。ユダヤ教の象徴では、7は完全性を表し、6は不完全性を暗示します。したがって、6つの清めの壺は律法の限界を示しています。イエスは、不完全なものを満たします。彼は、単に既存のものを改善するのではなく、それを成就させるのです。

イエスは400リットル以上の水をワインに変えました。ワインは、通常水で薄めて飲むものでしたので、これは驚くべき量であり、どんな結婚式で消費できる量よりもはるかに多いのです。ヨハネが伝えようとしているのは、贅沢そのものを称賛することではなく、キリストの恵みの限りない豊かさです。人間のどんな必要も、その恵みを使い果たすことはできません。イエスを通して、不完全だったものが完全になったのです。恵みは尽きることがなく、イエスにおいて神の国は近づきました。

カナでの婚礼を通してヨハネが伝えようとしているメッセージは、私たちが新たな喜び、良い知らせ、そして人生の豊かさを分かち合うためには、水がワインに変わるような、深い変容を私たち自身も経験しなければならないということです。



夢の祭典 2026年 ペナン国際大会